

鳳 陽

第182号

令和6年9月15日

発行所 一般社団法人 鳳陽会
(山口大学経済学部同窓会)
〒753-0089 山口市龜山町3-1
TEL・FAX (083) 924-4361
E-mail : houyou99@crocus.ocn.ne.jp
印刷所 株式会社マルニ

—— 開学の祖「上田鳳陽」先生 (1769～1853) の教えを汲み ——



第94回 通常総会 国際平和文化都市 「ひろしま」に集う

恒例の校歌等を斉唱

令和6年6月8日(土)、広島市の「リーガロイヤルホテル広島」において第94回通常総会が開催され、ご来賓、学生の皆様を含め約160名の方にご出席いただき、盛会のうちに総会・懇親会が行われたことをまずもってご報告申し上げます。今回は、通常総会に先立ち、13時から「支部長会議」が開催されました。北は北海道から南は宮崎までの全国の支部から支部長(代表幹事)が出席され、3時間にわたる有意義な会議が行われました。

16時から始まった通常総会では、物故者への黙祷、松永理事長、有村経済学部長のご挨拶の後、議事に入り、令和5年度決算、役員選任の議案について可決・承認されました。そして、令和6年度事業計画等の各報告が行われ、出席会員からはご質問・ご意見はなく総会は無事終了しました。

その後会場を4階「ロイヤルホール」に移し、17時から懇親会が開催されました。懇親会では、谷澤学長、有村経済学部長、田中鴻理会会長、福田霜仁会会長、古林常盤工業会会長のご臨席を賜り、引受け支部長による歓迎挨拶、谷澤学長のご祝辞、そして広島支部中吉副支部長(学2)の乾杯の発声により懇親会は

開始となり会場のいたるところで歓談の輪が広がり穏やかな雰囲気のか宴会がスタートしました。

お酒は、地元西条の銘酒「大吟醸ゴールド賀茂鶴」を用意いたしました。お酒は、松永理事長から越後の銘酒「鶴齢」を、大学からは山口大学ブランドの「長州学舎」を差し入れていただき、各テーブルを華やかに彩ることができました。

懇親会には、大学3期から大学72期までの幅広い年代の会員にご参加いただき、世代を超えて親睦を深めました。ビールやお酒を飲みながら和やかに談笑。初対面でも「山大」のつながりで会話が弾みます。各テーブルは年次ごとに配席したこともあり、久しぶりに再会した同級生や先輩・後輩と学生時代の思い出に浸る場面もありました。

会場が盛り上がりつつあるところで、懇親会に参加してくれた現役の学生3名が壇上に上がり、自己紹介と現在行なっている活動について熱く語ってくれました。そうすると、会場全体の先輩達から大きな拍手が沸き上がりました。そのうちの女子学生さんは公認会計士の試験に見事合格されたそうです。現役学生もそれぞれに頑張ってくれているとあらためて感心いたしました。

行事予定

○第95回 通常総会

令和7年5月24日(土) 於 東京

懇親会も終盤に差し掛かり、次回開催地、東京支部塩塚支部長の歓迎のご挨拶をいただいた後、恒例の校歌等斉唱に移りました。昔のように肩を組んでというわけにはいきませんが、広島支部奥田悠太さん(学63)の音頭により「山口高等商業学校校歌・鳳陽寮寮歌・山都逍遙歌・山口大学学生歌」を全員で熱唱しました。大盛り上がりで大変感動いたしました。最後は、広島支部斎藤藤先輩(学5)に万歳三唱で締めたいいただき、お開きとなりました。世代を超えて山口で過



通常総会



懇親会

ごした日々を思い起しながら、語らい歓談し食事を通しての会員の皆様のお姿を拝見し、開催事務局として無事開催できて本当に良かったとあらためて感じたところです。そして鳳陽会の伝統と歴史を鑑み、これから若い世代へ「鳳陽会」の精神が引き継がれ、益々発展していきまますように切に願っております。今回は全国から支部長の皆様にご参加いただき、そして広島支部においては、大規模職域等でのお声掛けにより若い世代の方々にも多くご参加いただきました。本当にあり



参加いただいた現役生

がとうございました。繰り返しの延期を経ての開催で行き届かぬ点が多々あつたかと思いますが、何卒ご容赦いただけたらと思えます。来年は、東京で開催の予定となっております。皆様と再会できますことを楽しみにしております。末尾にあたり、この度の通常総会・懇親会の開催にあたり多大なご尽力をいただいた多くの皆様方から感謝いたします。本当にありがとうございます。広島支部長

山下佳孝(学34)

支部長会議を開催

6月8日(土)、広島市のリーガロイヤルホテル広島において、令和6年度鳳陽会支部長会議を開催しました。令和元年12月、中国の武漢市で確認された新型コロナウイルス感染症は瞬く間に感染が拡大し、我々の生活は大きな変容を余儀なくされました。しかし、昨年5月ようやく新型コロナウイルス感染症は、感染症法での位置付けが2類相当から5類へと変更されました。鳳陽会でも、令和2年から3年間、書面議決により通常総会を開催していましたが、令和5年6月には第93回通常総会を宇部市で開催しました。また、鳳陽会支部の総会も再開されました。ただ、支部総会出席者が減少するなど、各支部の活動がコロナ出現前と同じ状況にはなく、大きな爪痕が残っていることが判明しました。このため、7年ぶりに支部長会議を開催し、先ず各支部の実態や意見を把握して、今後の鳳陽会活動に活

かしていくこととして、支部総会を開催したものです。今回の支部長会議には、北は北海道支部から南は宮崎支部まで、全国27支部の皆さんにご出席いただきました。会議は、限られた時間の中で出席した皆さん全員からご意見をいただくため、五つのグループに分けて意見交換し、グループでの討議終了後は、各グループから、それぞれ意見発表を行いました。どの支部も高齢化が進展し、若手会員の参加が少ない。卒業期別幹事・職域幹事を設けた結果、若手会員の参加率が高くなった。経済学部が4割近くが女子学生になっている時代に、全国総会の女性出席者はゼロ。女性が参加しやすい環境づくりが大切。女性鳳陽会のような分科会をつくってみてはどうか。青年部などの分科会を立ち上げれば、若手の会員同士で参加しやすくなる。横のつながりができる。卒業生の電話番号、メールアドレス等本人の連絡先の情報が欲しい。

支部活動のための資金が不足している。どの支部も活動資金に苦労している。支部総会開催経費の本部からの一部補助、支部援助費の復活があればありがたい。ホームページの管理を学生に任せてはどうか。活性化も期待できるし、在学中から鳳陽会を意識してもらおうことができる。支部活動が停滞している支部は、合併することも検討すべきである。在学生が鳳陽会を知らない。大学24期以降の卒業生も亀山校舎を知らない。鳳陽館が未だに亀山にあるから認知度が低いのではないか。本部を吉田又は山口大学の中へ移しては如何か。といった意見を始め、様々な意見がありました。会議の最後には、松永昭博(学21)理事長が、会議で出た様々な意見について検討し、可能なものは具体化を進め、鳳陽会活動に反映して、活動の活性化に向けて取り組んでいきたいとの決意を表明し、会議を終了しました。

石畠(学26)

学園だより

山口大学経済学部近況について

経済学部副事務長 富永裕之

平素は経済学部の就職支援に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。本年4月に医学部医療支援課から転任して参りました副事務長の富永と申します。

私は、みかんの島の周防大島で生まれ、小中高校を錦帯橋で有名な岩国市で過ごし、北九州市の小倉競馬場が見える大学を卒業後、平成8年度に本学医学部に文部事務官として採用されました。平成12年度から平成16年度まで千葉県の放送大学本部や文部科学省高等教育局の勤務を経て、平成17年度に山口大学に戻ってから平成27年度までは主に総務系の業務を経験しました。その後、工学部から医学部と宇部地区勤務を経験し、このたび8年ぶりに吉田地区勤務になりました。経済学部での勤務は初めてとなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

私が経済学部に来てから

5か月が経過し、経済学部の特徴の一つとして感じているのは、就職関係の行事が充実していることです。今回は私から、経済学部の就職状況や就職支援の取り組みを説明させていただきます。

○近年の就職状況

令和5年度の経済学部卒業生の就職内定率は、96.8%（就職希望者315人のうち就職内定者数305人）と、過去5年間で最も高い結果となりました。産業界では、

1位 公務員(国家、地方)

2位 金融業

3位 製造業

となっており、公務員就職者数が72人(国家21人、地方51人)で近年では最多となっています。平成30年度以降、公務員が産業界で1位になっています。大学生の就職活動については、政府が企業に任意に求める採用ルール・スケジュールに基づき行われることが原則になっていますが、就職情報サイトの調査によると、2025(令和7)年卒業予定の大学生の就職内定率は5月末時点で前年を上回って推移しています。独自のスケジュールで早期に選考を進める企業があるため、行きたい業界・企業のスケジュールを早めに確認しておくことが必須と考えます。コロナ禍からの業績回復を受けて企業の採用意欲が高いのも背景にあると考えています。

○就職支援の取組

山口大学では、学部生から大学院生まで一貫したキャリア形成支援を行う体制の充実を目指して、令和6年1月に全学の組織として「キャリアセンター」を開設しました。キャリアセンターでの多様な学生・多様な進路に対応したキャリア教育・就職支援に加えて、経済学部では鳳陽会や地元

年度	就職内定率
令和元年度	95.1%
令和2年度	88.4%
令和3年度	95.1%
令和4年度	96.6%
令和5年度	96.8%

就職内定率の推移

令和6年度「第94回通常総会」報告

令和6年6月8日(土)午後4時から、広島市中区基町の「リーガロイヤルホテル広島」において、一般社団法人鳳陽会の第94回通常総会を開催し、午後4時48分に終了した。

記

【決議事項】

- 第1号議案 令和5年度決算
事務局から令和5年度決算を報告し、原案どおり承認された。
- 第2号議案 役員を選任
事務局から任期満了に伴う役員を選任について提案後、原案どおり承認され、理事2名、幹事1名が交代した。
なお、第94回通常総会終了後、令和6年度第2回理事会を開催し、松永昭博理事を理事長に、石畠克幸理事を常務理事(事務局長)に、それぞれ再び選定した。

□ 理事

氏名	卒期	所属支部	備考	氏名	卒期	所属支部	備考
松永 昭博	学21	東京	重任	石畠 克幸	学26	山口	重任
塩塚 保	学23	東京	重任	瀧田 泰	学26	山口	重任
葛見 雅之	学23	東京	重任	床本 隆夫	学29	宇部	重任
羽根 彰	学29	大阪	重任	日高 義隆	学21	北九州	重任
中吉 雄二	学21	広島	新任	森川 康朗	学29	福岡	新任

□ 監事

氏名	卒期	所属支部	備考	氏名	卒期	所属支部	備考
山根 信之	学30	山口	重任	重村 和雄	学45	山口	新任

【報告事項】

- 事務局から次の各事項について報告を行った。
- 令和5年度事業報告
 - 令和5年度公益目的支出計画実施報告
 - 令和6年度事業計画及び収支予算

企業の方々と連携しながら、次のような様々な就職支援を行っています。

- ①就職ガイダンスの開催(就職情報サイトとの連携)
- ②就職アドバイザーによる就職相談(鳳陽会との連携)
- ③模擬面接(企業人事担当者を招いて行う面接の練習)の実施
- ④就職情報室の開放
- ⑤保護者就職説明会の開催(年1回実施)
- ⑥保護者向け就職通信の送付(年2回発行)

○鳳陽会との連携

経済学部では、鳳陽会と連携して、平成23年から経済学部OB・OGによる就職アドバイザーを配置(現在3名)し、学生の就職に関する相談、例えば、業界・企業研究、エントリーシートへの書き方等について相談に応じています。就職アドバイザーは、各分野で活躍された経験豊富な方々で、週3日就職相談室に勤務していただき、就職に関することから学生生活全般について気軽に相談できる体制を整えています。

令和5年11月30日には、「山口での就職のすすめ」を



経済学部では、今後、鳳陽会との連携の下、就職支援への取り組みをさらに充実していく考えです。鳳陽会の皆様には、今後とも引き続き、経済学部の就職支援の取り組みにご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本学大会館で開催しました。このイベントは鳳陽会山口支部の提案による企画で、山口大学経済学部を卒業後、山口市内の企業に就職して、その第一線で活躍されている5人の先輩たちが登壇し、後輩の在学生にむけて、学生時代のこと、現在の仕事のこと、山口での暮らし方、就職活動についてのアドバイスなどを語っていただきました。40名近くの学生が参加し、大変有意義なイベントになりました。

令和6年度上田鳳陽賞・副学長表彰の表彰式が執り行われました

去る5月28日(火)、令和6年度の上田鳳陽賞及び副学長表彰の表彰式が、山口大学経済学部の第一会議室において執り行われました。

経済学部では、平成15年から、学生の勉学への積極的な取組を奨励することを目的として、学業において年間を通じて優秀な成績を修めた学生を表彰することとし、経済学部、そして山口大学の礎となる私塾「山口講堂」を創設した上田鳳陽先生に因み名付けられた「上田鳳陽賞」を授与しています。

今年度は、経済学部の経済学科、経営学科及び観光政策学科、3学科のそれぞれ2年生、4年生の各学年で最も優秀な成績を修めた9名の学生が表彰されました。また、副学長表彰は令和5年度TOEICテストにおける成績優秀者を表彰するもので、経済学部からは2名が選ばれました。



有村貞則経済学部長からは、「皆さんがこれだけの優秀な成績を収められたということは、勉学という学生の自分を正に実践されてきたことの証であり、大変嬉しく思います。この努力の姿勢は、社会に出てからも皆さんの強みとなりますので、これからも継続してください。そして、是非、後輩の良い模範になってください。」との激励の言葉がありました。

また、鳳陽会からは、石畠克幸(学26)常務理事・事務局長が出席し、「この度の受賞、心からお祝い申し上げます。次の高みを目指し、これからも、是非、頑張ってください。」とのお祝いの言葉、今後の更なる飛躍への期待の言葉を贈りました。受賞者の貞弘結菜(観光政策学科2年生)さんは「今回、上田鳳陽賞という名誉ある賞をいただくことができ大変光栄に思います。再びこの賞をいただけるよう、これからも仲間と共に高め合いながら勉学に勤しみ、悔いの残らない大学生活にしていきたいと思っております。」

と受賞の喜びと抱負を語りました。

石畠学26



本誌への広告のお願い

事務局では、皆様方からの会報「鳳陽」への広告掲載の申し込みを募集しております。

広告は一回のみの掲載から、通年(年3回発行)等の掲載が可能です。また、主なサイズ、料金は下記のとおりです。

詳細については、事務局へお問い合わせください。

- ★1/3頁(横182mm×縦86mm) 40,000円
- ★1/6頁(横90mm×縦86mm) 20,000円
- ★1/9頁(横58mm×縦86mm) 15,000円
- ★名刺版(横58mm×縦42mm) 5,000円

支部だより

北海道支部

支部総会、ゴルフ懇親会を開催

北海道支部の総会はコロナで3年中止していましたが、昨年から再開し、昨年同様「梅の花札幌店」にて7月13日12時から開催しました。コロナ後は夜ではなく昼の食事会としています。現在会員数は12名まで減少し、当日の出席者は6名となりました。冒頭、木村支部長からの挨拶と今回不



参加の会員の方々の近況を報告いただきました。会員の平均年齢も70歳を超え、出席が適わない人も出ており、参加可能な人が10人となつてしまいました。当日

も病気や所用で来られない人がおり、年々先細りになつてしまふ状況です。

続いて6月に広島で開催された鳳陽会の通常総会・懇親会・支部長会議について、代理出席した平川さんから会議の内容と総会の模様、報告が行われ、各支部を含めた課題と対応の共有、広島総会で他支部の方から当支部のメンバーにいただいたメッセージも披露されました。

一年ぶりの開催ですが、会は和気あいあいとした和やかな雰囲気が始まりました。各人の近況や情報交換の後、酒が進むにつれ、声も大きくなり熱気を帯びていきます。山口の樫野川や鴻ノ峰、ほたるの飛び交う一の坂川等の風景や、瑠璃光寺の五重塔、雪舟庭、焼失前の旧ザビエル聖堂、亀山の校舎のこと。学生運動やバイト生活の想い出。平川の下宿や吉田寮での生活。食堂の長門館、利平・方両・コンパで利用した惣野旅館・スナックのルナや経済学部の喫茶コーナーや旧亀山校舎の食堂など懐かしい話に花が咲き、時を忘れて楽しい時間を過ごすことができました。

正午からこんなに酒を飲んだのは、コロナ以降初めてのようなききです。話は酒屋で二次会を開催しました。そこでは琴野さんのマンホールカード収集の話にボルトーが上がり、総会前々日早くに千歳空港に着き、レンタカーを調達して北広島市や当別市などの札幌周辺都市を訪れ、総会当日の朝も市内のカード収集に奔走した由。カード自体は無料ですが、交通費に多大な時間を費やす大変な趣味に思えますが、話している本人は悦に入った良い顔をされていました。

支部総会を開催

会の前日に「札幌南カントリー倶楽部駒ヶ丘コース」でゴルフを行いました。わずかに雨に当たられましたが、北海道らしい爽やかな涼しさを感じながらのプレーでした。ゴルフ場には、エゾシカのバンビが現れるハプニングもありました。プレーは、とても70歳代とは思えぬ諸先輩の飛距離に驚かされるとともに、当コース名物の高速グリーンに悩まされるゴルフとなりました。

令和6年7月27日(土)12時から、漁亭「浜や」仙台エスパル店(仙台駅地下街)にて支部総会及び懇親会を開催しました。

東北支部

支部総会を開催

鳳陽会東北支部では、コロナ禍も終わったことを機に、昨年より、半年ごとの定例会を開催できています。今回は久しぶりに、鳳陽会東北支部の5名と常盤工業会東北支部の4名の方と合同で開催しました。

懇親会の始めに白井支部長より、支部の垣根を越え



住所・氏名等、変更された場合はお知らせください

住所・勤務先など変更がございましたら、事務局までご連絡ください。連絡方法は下記の通りです。よろしくお願いいたします。

TEL & FAX : 083-924-4361
Mail : houyou99@crocus.ocn.ne.jp

ホームページ (http://www.houyou.or.jp/)からの変更手続きも可能です。是非ご活用ください。



鳳陽会

検索

て、山口大学全体のOB会を開催する旨のお話がありました。

鳳陽会東北支部は、常盤工業会と合同の懇親会を20年近く開催しています。途中コロナ禍での中断はありましたが、今回また合同の懇親会が再開できたことに両会の皆さんは大変喜んでいました。

懇親会では、海鞘(ほや)のてんぷらやシラスの沖漬など震災から復興した宮城県名取市閑上(ゆりあげ)地区の郷土料理に舌鼓を打ちながら、皆さんの近況報告をいただきました。

皆さんの病氣自慢の後、昭和35年卒の藤本氏の家事を全て行っている話や、常盤工業会の沖部(昭和38年

卒)氏の朝のジョギングが日課という体力充実の話、昭和42年卒業の幸頭氏の詩吟の師匠で元氣ハツラツな話、常盤工業会の前田(80歳代)氏のゴルフでエージシユート達成の話などお元氣な近況も話していただきました。

話は投資の話に及び、今話題の「新NISA」にも皆さんとても関心を持っていました。ファイナンシャルプランナーである昭和53年卒業の北山より、投資は「100+年齢」に留めておきましょう。80歳なら「100-80」の20%くらい、40歳なら「100-40」の60%くらいですね。また、リスクを下げるために分散投資を心がけ、例えばパッシブ運用(インデックス運

鳳陽会の事業：全国各支部の活動への支援や情報提供

用)の投資信託を検討ください。更に「ドルコスト平均法」(価格変動のある商品)を定期的に一定金額で分散して購入していく手法)を活用して、平均取得単価を引き下げましょう。などの話をさせていただきました。

懇親会は大変盛り上がり、予定時間を超えて3時間におよびました。次回は定例会開催を11月末に行うことを決め、最後に常盤工業会の沖部(昭和38年卒)氏の指揮で「山口大学学生歌」を高らかに合唱して閉会しました。



鳳陽会東北支部出席者

(敬称略)

藤本博見(学8)、幸頭英治(学15)、白井登(学20)、北山茂治(学26)、吉本潔司(学39)

(北山 記)

東京支部

東京支部総会開催

鳳陽先生のご子孫登壇
世紀を超えた交流復活

鳳陽会東京支部は令和6年6月1日、東京・アルカディア市ヶ谷(私学学館)で支部総会を開催した。山口大学の学祖、上田鳳陽先生のご子孫、上田慶太氏が登壇してあいさつ。世紀を超えた交流が復活した。

幅広い世代が参加

正午前から、同窓生たちが続々と集まってくる。法被(はっぴ)姿の実行委員たちが受付でにこやかに出迎えた。

支部総会には大学3期の大先輩から20代の若者まで幅広い世代の同窓生が参加した。大阪支部の羽根彰支部長と宇部・山陽小野田支部の床本隆夫支部長が元氣な姿を見せた。山口大学理学部と人文学部の同窓生も駆け付けた。

上田慶太氏があいさつ

来賓として母校・山口大学経済学部の有村貞則学部長と上田鳳陽先生のご子孫上田慶太氏が列席された。鳳陽先生は江戸時代、



上田慶太氏(前列右端)と同窓生

長州藩の藩士だった。1815年、山口の中河原に山口講堂を設立。この山口講堂が山口高商(山口大学経済学部の前身)、そして山口大学の源流となる。明治時代、鳳陽先生のご子孫、上田茂雄氏が山口高商の式典に参列していた。上田氏は陸軍の一等獣医監などとして日清、日露戦争に従軍し、叙勲を受けたという。山口高商の校長とともに鳳陽先生の墓前(山口市・乗福寺)で撮影した貴重な写真が残されている。

じゃんけん大会

その後、上田家は山口の地を離れたため、長い間、交流が途絶えていた。2023年、上田慶太氏が首都圏に住んでいることが判明した。鳳陽会東京支部総会に招待したところ、快諾。壇上でにこやかに挨拶した。慶太氏は先祖の名が受け継がれ、その名を冠した「鳳陽会」が存続していることをうれしく思うと述べ、同窓生のあたたかい拍手を浴びた。

同窓会員たちは円卓に座って食事。ビールやワインなどを飲みながら、談笑し、世代を超えた交流が深まっていく。

東京支部吉例のじゃんけん大会が始まった。11卓のテーブルでじゃんけんをして、勝ち残った11人が会場中央に集まる。決勝戦で勝った順番に事務局が用意した山口の最高級銘酒と名菓を獲得。意気揚々と席に戻っていった。

だが、じゃんけん大会はこれで終わりではない。鳳陽会の松永昭博理事長が提供した新潟の銘酒12本をめぐって敗者復活戦が行われ、勝者に手渡された。

肩を組んで寮歌

楽しい懇親会も終盤が迫ってくる。メンネルコールOBの同窓生が指揮して山口大学学生歌を合唱。会場が一体感に包まれ、高揚していくなか、木村進(学11)リーダーが勇ましく登場した。ハチマキに法被、袴、高下駄で壇上に立つ。法被を着こんだ実行委員たちも壇上に勢揃いした。



寮歌を指揮する木村進リーダー

木村リーダーが巻頭言を声高らかに発する。節目、節目に同窓生が「うおー」と叫んで呼応する。さあ、鳳陽寮寮歌の高唱だ。

花なき山の 山かげの月も宿さぬ 川の辺の最後は山都追遙歌。山口大学経済学部生が先輩から後輩へと歌い継ぐ名歌である。

春を吊う落英か
朧ろに流る榎野川
同窓生は肩を組んで歌う
寮歌は肩を組んで歌ってこそ、寮歌である。

私たちは山都・山口の青春時代へと回帰していった。

通常(全国)総会

来年5月24日(土)、東京・アルカディア市ヶ谷で鳳陽会通常(全国)総会を開催します。

全国同窓生の皆さん。花の東京へ結集しようではありませんか。(東京支部長 塩塚保)

鳳陽会東京支部へ友達登録をしてみませんか?

LINEの友達登録ができるQRコードを作りました。ホームページ掲載の最新トピックスがお手元に届きます。

◆操作手順

- ・LINEアプリを起動しQRコードの読み込み
- ・友達「追加」のボタンをタップ
- ・氏名と卒業年をお忘れなく



名古屋支部

第三九回

懇親ゴルフ会の開催

令和六年四月二十七日(土)、第一三九回懇親ゴルフ会を「富士カントリー可児クラブ・美濃ゴルフ場」で開催しました。

春の開催は平日に、秋の開催は土・日・休日にとの取り決めがありますが、現役で活躍の若い皆さんの参加を期待し、ここ数回(二年間)は土曜日の開催としてきています。

今回は小雨のち晴れの天気予想でしたが、幸い雨具をつけるまでもない状況で、時折爽やかなそよ風もあり楽しいラウンドとなりました。



結果は下記の通りで、堅実なプレーで実力を発揮された笠井(学19)さんが連覇を達成されました。

次回の第一四〇回は、今秋の十月五日(土)に近隣のゴルフ場での開催を計画しています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

【成績】(ダブルペリア形式) 優勝 笠井さん(N72、6) 準優勝 中谷さん(N76、2) 第三位 川村さん(N76、8)

【参加者】(敬称略)

乾さん(学9)、吉山さん(学17)、笠井さん(学19)、川村さん(学22)、中谷さん(学29)、稲垣さん(学36)、権藤さん(学45)の7名

以上 (川村恒治 記)

令和6年度

支部総会・懇親会の開催

令和6年5月18日(土)、アイリス愛知(名古屋市中区)で名古屋支部総会・懇親会を開催しました。昨年からの会場で総会・懇親会を開催しています。

昨年の総会は4年振りの開催でしたが、今年度も昨年に続けて開催でき、また多くはないものの、久しぶりの会員もご出席いただき賑やかな総会・懇親会となりました。

今年度は会員12名の出席と、ご来賓として、昨年に



続き経済学部の中村美紀子教授、本部から石畠克幸常務理事・事務局長をお迎えできました。

また、今回は初めての試みですが、人文学部OB(1986年卒)の恒成秀洋株式会社中部経済新聞社代表取締役社長を講師にお迎えし、講演をお願いすることができました。恒成社長から経済専門の新聞社としての生い立ちや、記者としての活躍、苦労話、また社長としての経営、理念等多彩なお話に、興味が尽きません

でした。

その後、最長老の乾昌博(学9)さん、久しぶりのご出席の平勝利(学18)さん、上田孝洋(学21)さん、今回広島支部から支部に初出席の伊藤貴史(学46)さん、最若手の倉橋新(学53)さんに、近況や最近思うこと、学生時代の思い出等多彩なテーマでスピーチいただき、和やかさと共に活発な対話が行きかい、嬉しい時間を過ごしました。

また、一昨年に名古屋から郷里下松にお住まいを移された伊藤美樹夫(学20)さんからも、最近出かけた海外旅行の思い出、教訓など興味深いテーマでのスピーチをいただきました。

更に、中村教授や石畠事務局長からも、最近の学生の生活振りや勉強振りについて、また各地の鳳陽会活動、本部の活動状況についてお話いただき、短い時間ではありましたが中身の濃い総会・懇親会を開催することができました。

(川村恒治 記)

名古屋支部ホームページのご案内

東海地区の皆様には、ぜひ恒例行事にご参加いただき、新たな交流の場としていただきたくお願い申し上げます。転勤等で東海地区に来られた方もぜひホームページから名古屋支部にご連絡ください。

<https://lmp.jp/nagoyahoyo/>

鳳陽会 名古屋支部

大阪支部

大阪支部総会開催

今年の大阪支部総会は5月25日土曜日、12時から

ティプラザ大阪で開催しました。場所は久しぶりの本町での開催ということで、場所が判りにくいのではないかとということで、事務局が最寄りの地下鉄の駅、シティプラザの玄関、フロントと3名が山口高商のマークの入った法被を着て案内を行うことになりました。

この付近は嘗て企業の本社が集中していたところで

したので、場所を熟知しているのか笑いながら来る年輩の方、一方、この付近はめったに来ないのでということでスマホ片手の現役の方と、いつも行なう梅田界限とは違った風景が見受けられました。

また、通りの風景も、梅田付近に企業が集中し始めている昨今では、タワーマンションの住民が行き交う風情が見受けられます。

総会懇親会には、64人が出席され、有村貞則経済学部長、石畠克幸(学26)鳳陽会事務局長、塩塚保学(学23)東京支部長、谷元憲治山口県大阪事務所長、中井陽一郎同事務所主査の皆さまが来賓として出席していただきました。

今回は、女性の会員の参加数の増加、久しぶりの新卒3人の参加が目引きました。

総会は山内則幸さん(学28)の司会です。つがなく行われ、懇親会は米田宏さん(学29)の司会進行のもと、最年長大学3期の清水薫先輩の発声で開催されました。司会から新卒者3人の紹介を行っていただき、彼らのこれからの抱負を聞いた

時は、やっとコロナ禍も明けて、これがいつもの総会なんだと感じました。

更に20代、30代、女性の会員と、大学3期から72期までと幅広い年代の会合となりました。

期別を軸にテーブルの席を構成しており、各テーブルでは先輩の方々に「若手来てるなあ。」現役の会員も「末席じゃないですね。」若手は、「結構年配の方もおられるのですね。」との声がテーブルの各所で上がって



いました。

年配の先輩からは、久しぶりに会社の後輩に会って頑張れとのテーブルを超えての交流が見受けられました。司会の米田さんから、新卒の方へ学生時代は横の繋がりが軸の場、社会は縦の繋がりが軸になる場とのアドバイスがありました。

有村学部長からは、このところ、最近の学生の就職先は地元が中心になっているとの話がありました。年配の方から会社の後輩が入っているとの声が懸かりました。学生が地元を指しする風潮の中で、学部長は学生に関西企業の採用面接を受けさせていきたいと力強く答えられていました。

最後に恒例の鳳陽寮寮歌、山口高等商業学校校歌、山口大学学生歌と唱和に際し

大阪支部ホームページのご案内

転勤、転居により関西に来られた方は、ご遠慮なく気楽にご連絡ください。今後の交流のきっかけにさせていただきたいと思っております。

まずはホームページをご覧ください。

<https://houyoukai-osaka.com/>

鳳陽会 大阪支部

(学34 横出俊二)

て、新卒の方が山口高商の法被を着て舞台上がってくださり、会は佳境を迎え、次回総会での再会を期して散会しました。

今回も多くの方が連絡を取り合い、参加を促していただき、土曜日の昼という私的な時間を楽しむ時に、この会を組み込んでいただきました。その多くの参加者及び関係者には感謝の念以外に言葉はありません。また来年も元気なお姿を拝見させていただきます。

松江支部

支部総会開催

令和6年7月20日(土)に松江ニューアーバンホテルに於いて、10名の皆さんにご参加いただき、鳳陽会松江支部総会及び懇親会を開催しました。

総会は佐藤支部長の挨拶で始まり、支部会員の動静の報告に続き総会議事に入りました。議事は支部役員補選、会計報告、監査報告と異議なく承認されました。今後の総会会費について、若手会員の負担軽減を当面継続することが了承されました。その後、先般開催された令和6年度鳳陽会支部長会議に参加した狩森幹事(学30)よりその内容について報告いただき、総会を終了いたしました。

総会后、まずは記念撮影を行い、懇親会に移り、錦織先輩(学15)の乾杯の音頭からスタートしました。途中恒例の参加者全員による自己紹介と近況報告を行い、それぞれ山口での思い出を交えて語り合い、質問や講釈が飛び交い、大いに盛り上がりました。最後に吉田先輩(学29)の一本締めで締



めくり、来年の再会を約してお開きとなりました。

昨年は12名の皆さんにご参加をいただきました。今年も昨年を下回る参加人数となりましたが、今年も土江幹事(学41)の声かけにより30歳代の若手の会員5名のご参加をいただき賑やかに開催することができました。今後もより多くの若手の参加を目指していきたいと考えています。

【参加者】(敬称略)
 錦織勝(学15)、吉田守(学29)、狩森康弘(学30)、景山雅文(学34)、佐藤徹志(学34)、土江裕之(学41)、大谷倫広(学58)、日野敬太(学59)、引野仁貴(学60)、北村拓也(学62)

山口支部

現役学生たちのプレゼンテーションに刺激された時間

山口支部総会

母校山口大学のお膝元にある我が山口支部は、年度の事業計画に大学学部や学生たちとの接点を深める事業を掲げています。ご紹介しましょう。

最初の事業です。現在の経済学部学生たちには英語能力検定であるTOEICの高い得点が卒業要件に附されています。山口支部会員で学部特命教授である山根和明(学15)様が、学生たちの英語能力向上のための授業を担当しておられ、支部では高得点を取った学生に奨励金を贈呈しています。

また「山口での就職について」と銘打って山口地域への就職を促進する事業を行っています。昨年は大学会館会議室を会場に、40名の学生たちが集まり開催しました。山口地域で頑張っている若手会員5名に登壇してもらい、地域で働くことになった経緯や、働き甲斐などを一人ひとり紹介いただき、会場の学生たちから質問を受けました。

支部総会にも現役学生を招いています。今回は、今年1月にアメリカの新聞『ニューヨークタイムズ』が選んだ今年世界で訪ねたい都市の3番目に山口市が選ばれ、その記事掲載の経済的波及効果を導き出した加藤ゼミの学生たちでした。内容がとてもしんセーションナルで、総会後の懇親会では、先輩たちと学生との活発なやり取りがみられました。

今年度の支部総会参加者はゲストの学生たちを含め42名でした。昨年度の支部総会は山口大学構内の学生食堂を会場に開催しましたが、開催が土曜の昼間ということで、参加者から「お酒が飲めない」とか「土曜日には用事が多い」とかの意見もあり、平日の夜に開催することになりました。結果人数は昨年とさほど変わらず、今後は会場を学食と湯田温泉のホテルを交互にしたいと考えています。

今年度の総会次第は「令和5年度決算



(支部長 瀧田泰)

宇部・山陽小野田支部
—5年ぶりの支部総会を開催—

(学26)常務理事兼事務局長の紹介、乾杯へと進みまし

支部長あいさつとして、私からあらためて昨年の通常総会開催のお礼を申し上げる中で、同窓会の絆の深さを痛感するとともに、さらに支部をそして、鳳陽会全体を盛り上げていくよう呼びかけ、私自身もたゆまぬ努力をしていくことを力強く申し上げました。



7月20日(土)、当支部は、5年ぶりに総会・懇親会を開催いたしました。今回は、初めての試みとして、これまでの平日夜の開催から、土曜日の昼の時間に開催することにより、会員の皆さんが参加しやすい環境づくりに努めました。当支部は、昨年の通常総会引き受け後の最初の支部総会となり、あらためて、事業報告の中で通常総会を振り返り、懇親会では思い出話に花が咲く中、さらに交流を深めることができました。

当支部は、これまで支部総会とはいうものの、懇親会が中心の会でしたが、昨年通常総会を引き受けたこともあり、まず、白石勝己(学32)代表幹事から令和5年度の事業報告、決算報告及び令和6・7年度の役員改正について説明を行った後に、早速懇親会へと入っていきま

物故者への黙祷、山口高等商業学校校歌斉唱、支部長あいさつ、ご来賓の有村貞則経済学部長、石畠克幸

また、当日午前中は、大

て観光学科の取組や経済学部の課題についての報告がありました。今回は、5年ぶりということもあり、転入会員、新入会員の出席はありませんでした。特別に山口支部所属の森昌幸氏(学13)も初めて出席していただき、地域で幅広く活躍されている内容のスピーチをされました。

その後、初めての企画として、支部長とのジャンケン大会へと進み、山口県内の銘酒6人が当たるということで、お酒好きにはたまらない企画となり、大いに盛り上がりました。

今年は、人数的には多少こじんまりとした会ではありましたが、その分、新しい企画や当支部のモットーとして「思う存分、語り合う」という意味で会も和やかに進みました。

その後、恒例の山都逍遙歌、山口大学学生歌・鳳陽寮歌を歌い、当支部顧問の宮崎修五氏(学17)の万歳三唱でお開きとなりました。

支部総会をとおして、出席者同士の交流の輪が広がる一方で、300人近い会員が登録される支部をさらに活性化するにはどうした

らよいかということもあらためて考えていく必要があると痛感したところです。

やはり、女性や若い人たちと一緒に同窓会を盛り上げていく方向性が大切だと感じました。同窓会活動をどのように魅力的なものに立てていくか、大きな課題だと感じています。

そうした中、山口大学の学祖が上田鳳陽先生と公式に決められたことを踏まえ、私たちは誇りと自信をもち、地域経済の活性化はもろろん、あらゆる分野において社会貢献していける支部でありつづけたいとあらためて、誓ったところです。

結びに、あらためて大変お忙しい中、有村先生、石畠様にご臨席を賜りましたことを感謝申し上げます。支部報告とさせていただきます。ありがとうございます。

支部長 床本隆夫(学29)

防府支部

—令和6年度支部総会を開催—

令和6年7月26日(金)に防府グランドホテルにおいて、鳳陽会防府支部総会を開催しました。新型コロナウイルス



ウイルス感染症収束後2回目の開催です。参加者は21名とコロナ前に比べると少々寂しい感じもしましたが、学18期(昭和45年卒)の大先輩から、今年卒業した学72期の若者まで、幅広い年齢層の方々にご参加いただき、開催することができました。また、正宗聡副学部長、石畠克幸鳳陽会事務局長、そして池田豊(学29)防府市長にもご出席いただきました。感謝申し上げます。

まず、私(支部長)から、ご挨拶申し上げますとともに、6月8日に広島で開催された鳳陽会通常総会及び支部長会議について報告しました。全国の支部の現状と鳳陽会活動の基盤強化と活性化をテーマにグループ討議をしたことを報告しました。また、防府支部は、支部総会に若者の参加があり、羨ましがられたことを報告しました。次に、支部の令和5年度事業報告、決算、令和6年度事業計画と予算をお諮りし、ご承認をいただきました。

続いて、いよいよ皆さんお待ちかねの懇親会へと移りました。懇親会では、毎年恒例の名司会者によるビンゴゲームが行われ、大変盛り上がりしました。最後には、山都逍遙歌、鳳陽寮寮歌、山口大学学生歌をみんなで大合唱しました。大先輩も若者も、縦の繋がりがだけでなく、横の繋がりを紡ぐことができ、大満足の支部総会でした。今後も、みんなで鳳陽会防府支部を紡いでいきます。

支部長 林慎一(学31)



香川支部

全学部合同の総会

令和6年5月11日(土)、5年振りに第31回鳳陽会香川支部総会開催に合わせ、全学部合同の総会を「料亭二蝶」で開催いたしました。総勢7名にお集まりいただきました。

午前11時、阿部支部長の開会挨拶より始まりました。経済学部長有村様と鳳陽会事務局長石畠様には、遠路よりご出席をいただきました。ご両名様から大学、同窓会の近況報告をいただき、取り巻く環境について理解を深めました。

【来賓】
有村貞則経済学部長
石畠克幸事務局長(学26)

(学30 安田 記)



次に、令和5年度会計報告及び会員の近況(お便り)報告を行った後、経済学部長有村様の乾杯の音頭により懇親会をスタートしました。しばらくは、それぞれ食事と会話を楽しみ、近況や学生時代の思い出などを披露してもらってからは、お互いに席を移動しながら交流を楽しみました。

近年若い人の参加が少なく苦慮しています。しかしながら、新たな出会いが始まり、世代を超えた人の和が広がっていくことを願っております。

「リーチ、一盃口、チャンタ、三色、跳満、親、18千点」と語り女性参加者から尊敬の眼差しで「先生」と呼ばれている(彼女たちは今日の雀卓は配牌も計算も全自動ということはまだ知らない)。

しばし経済学部生の最重要必須科目である麻雀原論I・IIについて学習した。横山は1980年12月8日の課外授業で九蓮宝燈をテンパったその時、ジョン・レノン銃撃のニュースが飛び込み頭が真っ白になり対面の六筒子を見落とした苦い夜を思い出していた。

酔いが十分回ったころ恒例のゼミへ突入。(含メール参加者)

①ドル160円は日本経済を反映しているか
日米金利差や経常収支の悪化、企業収益が国内に還流していない状況を背景に論じた。永原(学10)と古川(学24)は「反映していない」とし、小宮は120〜130円が妥当なところとした。「反映している」としたのは横山。貨幣価値は通貨と商品との交換比率として、NYのラーメン3千円に対し佐

佐賀支部

支部総会開催

6月29日、佐賀支部総会を開催。会場は森嶋外も泊まったという江戸時代創業の松川屋。経済学部生の聖地・惣野旅館でのコンパを彷彿させる雰囲気の中、小宮支部長(学21)から広島での支部長会議・総会の報告に続き、石井名誉支部長(学16)の音頭で乾杯。

まずは近況報告。小宮は社会保険労務士を取得するなどスキルアップを続けるなど、古藤(学19)は税理士として母校の公認会計士輩出を喜び、福山(学21)は民生委員の傍ら囲碁の磨き上げを、馬場(学33)は中小企業診断士時代に直面した苦難の日々を語り、横山(学31)は公務員のセルフビズリーチを重ね、石井は健康麻雀教室で学生時代に鍛えた引きの強さを披露するとともに

【出席者】(敬称略)
(経済学部卒)
阿部文雄(学18)、林孝一(学29)、安田等(学30)、松下慶二(学33)
(農学部卒)
香川洋二(昭和43年卒)

質の平和食堂は320円で
あることをその根拠とした。
古藤は企業力の低下が背景
にあるとし実力ある企業へ
の支援を強く求める一方で
日銀による国債やETFの
買い過ぎを指摘した。福山
は政府日銀がFRBの思惑
に敏感になりすぎていると
しより主体的な通貨政策を
採るべきだとした。ご意見
番の石井は「あっち(ドル、
FRB)を立てればこっち
(円、日銀)が立たず」と混
迷する国際通貨情勢を明快
に分析した。馬場は、ドル
は今後も基軸通貨となりう
るのかと疑問を投げかけた。
アメリカのインフレの終息
が見えず、紛争が続いてい
る状況下では有事のドル買
いで円安傾向は当分続くこ
う結論に至った。

② 個人消費の拡大策

GNP539兆円の1/2を
占める個人消費を失われた
30年間の低迷からどう拡大
させていくかを論じた。永
原は、さらなる成長に伴う
実質賃金の目に見える上昇
がポイントとした。古川は
税制、時限でも消費税引下
げが必要とした。小宮は実
質賃金が増えなければ財布
のひもは締まるばかりで円
安是正による輸入価格の抑
制や優遇税制の改正、賃上
げが必要とした。横山は外
貨準備高1兆2千億ドルを
原資にエネルギーや教育、
子育て、省力化への集中投
資による筋肉質の内需型経
済への誘導を提唱した。馬
場は、日本経済は過剰流動
性の状況にあるとしながら
自身は経済学部で6年間に
籍し過剰に学生となった理
由を切々と語った。古藤と
福山は若い世代の賃上げが
内需だけでなく少子化の改
善にもつながるとし、石井
は「税は安い方がいい」と全
国民の願いを代弁した。経
済漫談は終わりなく続き、
個人消費の拡大は「飲むこ
と」という結論に至った。

最後にアメリカ大統領選
の話題になり「もつと若いの
はおらんとか」という流れ
の中、小宮から横山に支部
長をやれとの緊急動議が出
されたが、横山は「いやいや
まだまだ若輩者なので…」
(笑)とこれを辞退した。
今回は佐賀支部麻雀大
会を開催することとした。

在校生のみなさんへ

佐賀支部は、佐賀での就
職を考えているみなさんを

サポートします。
社会人生活で最も重要な
のはスマホではなく、人と
のつながりです。同窓なら
ではのネットワークを活用
しながら就職やビジネス
チャンスなどの情報を聞い
てみませんか。
まずは佐賀支部までご連
絡を！



佐賀支部連絡先
☒houyou-saga@leo.bbiq.jp
在校生だけではなく、転勤等
で佐賀県へ転居された方がい
らっしゃいましたら是非ご連
絡ください

大分支部

―五年ぶりの例会を開催―

大分支部は、五年ぶり
となる例会を5月18日
(土)に大分市内の「トキハ
会館」にて開催した。今年
度は、参加者が12名で例
年に比べてやや少なかった
が、例会は大いに盛り上
がった。
若手会員2名が初参加
してくれたことは嬉しい限
りであった。

例会は、例年通り総会
の部と懇親会の部の二部
構成。

総会の部では、
まずは物故者へ
哀悼の意を表し
黙祷を捧げた。
続いては、佐藤
支部長の開会の
挨拶。佐藤支部
長の挨拶は、支
部発展に功績の
あつた物故者3
名の思い出話に
始まり「今後も
支部発展にます
ます尽力してい
く」旨の決意表
明で締めくくつ
た。引き続き、
2019年度か



ら2023年度までの5年
分の会計報告、監査報告
が行われ、全会一致で承認
された。

懇親会の部では、木原
祿郎さん(学6)の音頭で
乾杯。美味しい料理に舌
鼓を打ちながら、あちらこ
ちらのテーブルで話に花が
咲いた。参加会員の年齢
差は実に64歳であったが、
そこは青春時代をお互い
過ごしたのが山口の地、打
ち解け合い、友好を深め
るのにさほど時間を要しな
かった。

途中、参加会員の近況
報告が行なわれ、社会に
出て間もない世代、現役パ
リバリの世代、一旦退職の
後、嘱託(再雇用)で働く
世代、悠々自適のリタイア
世代とそれぞれの世代が
現在の生き様や信念を
語った。

青春時代にタイムスリッ
プした楽しい時代は瞬く
間に過ぎて行つた。締めく
くりは、恒例の鳳陽寮寮
歌、高商校歌、大学学生
歌を、肩を組み大合唱した。
これらの歌に精通した会
員が欠席で、メロディーが
おぼつかない面もあったが、
それでも声高らかに歌つた。
水田敬明さん(学15)の
音頭で万歳三唱し、名残
は尽きないが、来年の再会
を堅く約し散会した。

(学30 佐藤 記)

【出席者】(敬省略)

- 木原祿朗(学6)、水田敬明(学15)、上橋一夫(学21)、佐藤隆(学30)、曾根崎雅志(学31)、伊東祥子(学31)、下辻政雄(学36)、柳井田隆一(学44)、工藤憲文(学44)、栗林栄太(学48)、森大樹(学67)、石尾亜美(学70)

寄付金及び賛助会費納入者
ご芳名(敬称略)

令和6年7月31日現在

○寄付金(団体)

吉村ゼミOB・OG会

○寄付金(個人)

学44 経 鞍馬久雄
 学4 井 関 俊彦
 学5 仁 王 頭 正功
 学6 村 田 正 春
 学8 竹 下 英 樹
 学9 北 野 盛 莊
 学9 岡 本 裕 之
 学9 上 野 彰 三
 学11 木 村 野 進
 学12 匿 名 希 望
 学12 高 柳 芳 直
 学13 阿 南 義 隆
 学13 佐 野 晋 治
 学14 山 田 正 明
 学14 守 山 茂 明
 学16 古 原 秀 夫
 学16 土 屋 和 夫
 学17 鹿 毛 忠 明
 学17 木 村 幹 男
 学17 鬼 木 和 夫
 学18 古 賀 尚 夫
 学19 吉 岡 博 美
 学21 高 木 昭 寛
 学23 葛 見 雅 之

住所変更

動 静

★大学の部

学4 久永雄介
 学5 上森義美
 学15 山根英夫
 学20 嘉目克彦
 学23 小林 進
 学24 吉川 宏史
 学25 篠田 茂
 学26 兼石 一郎
 学28 工藤 正
 学29 村上 保則
 学30 赤崎 兼仁
 学31 小西 伸和
 学31 畑瀬 茂則
 学31 吉田 積善
 学31 秋田 誠治
 学33 有 福 孝俊
 学34 濱上 直己
 学34 今泉 泰広
 学34 景山 雅文
 学34 山本 護
 学35 森田 昭信
 学35 野上 武志
 学36 佐々木 隆士
 学36 早 隆 嘉文
 学37 喜 安 嘉隆
 学39 村上 公一

個人情報保護のため、詳細は掲載しておりません。詳細をお知りになりたい方は当会までご連絡下さい。会員の方に限り、お知らせいたします。

学39 坂田 謙吾
 学40 中野 伸二
 学41 浦川 知己
 学44 山口 和彦
 学44 葉石 竜太
 学44 福島 精
 学45 箱田 一成
 学46 廣中 哲治
 学47 柳 智美
 学47 村上 徹朗
 学47 島本 哲史
 学48 武田 春見
 学48 岩本 哲朗
 学49 石井 良治
 学49 茶木 秀夫
 学49 西村 匡史
 学49 藤井 俊成
 学50 中原 洋祐
 学50 室川 讓士
 学50 大澤 亜希子
 学52 徳本 真一
 学52 近藤 有美子
 学53 種本 淳二
 学53 西野 努
 学53 山崎 健司
 学53 葛城 寿和
 学53 石光 崇良
 学54 黒田 康博
 学55 村中 翔一

学69 大久保 圭捺
 学68 岩崎 凜太郎
 学68 濫谷 圭一
 学68 中野 真依
 学68 杉本 果鈴
 学67 内海 直子
 学67 内藤 貴詞
 学65 角田 裕也
 学65 長田 みどり
 学63 河野 晃正
 学63 川井 雅義
 学62 陶山 暢仁
 学62 茂刈 健太
 学61 島原 昇志
 学61 井坂 泰樹
 学60 木崎 彰二
 学59 黒飛 早絵
 学59 吉永 昂太
 学59 渡邊 麻木
 学59 住田 智也
 学58 廣瀬 啓太
 学57 三宅 洋平
 学57 緒方 るみこ
 学56 山下 英介
 学56 東 佑理
 学56 松岡 純
 学55 吉原 大輔
 学55 静間 和也

住所不明者
会報が返送されま
す。住所をご存知の
方はお知らせ下さい。

学72 本廣 美祈
 学72 木村 桃香
 学69 三阪 明日香
 学69 塩見 梨紗
 学69 竹内 彩海
 学42 池尻 泰人
 学41 薬師 寺敬治
 学41 藤本 幸成
 学40 長友 圭史
 学40 安藤 孝二
 学40 三宅 都
 学39 松浦 祐司
 学39 日高 直純
 学38 仲間 充彦
 学38 森重 成美
 学38 森本 亜樹
 学37 石田 透
 学36 新立 邦比古
 学34 佐々木 義明
 学34 中上 伸一
 学34 小柳 弘志
 学34 久保 山友喜
 学33 河本 哲二郎
 学33 谷川 克彦
 学32 石井 康雄
 学32 田村 敏彦
 学32 峯野 彰夫
 学31 西村 一義
 学31 桑原 宣幸
 学30 古森 照基
 学30 野中 英晃
 学30 穂坂 寛
 学29 長岡 充
 学28 滝口 年彦
 学27 末国 修三
 学27 今川 孝幸
 学27 中村 義清
 学27 貴嶋 俊伸

寄付金・会費の納入ありがとうございます。
 寄付金、賛助会費、更には年会費を納入していただ
 いた皆様には厚く御礼申し上げます。
 賜りましたご厚志は有効に活用させていただきます。
 引き続き、ご協力を賜りますよう心からお願い申し
 上げます。

○賛助会費(5口)

院2 藤田幸雄
 学42 國本武豊
 学38 藤里武
 学37 川 俣 高 志
 学37 愛 宏 伸 俊
 学32 板井 川 浩
 学30 松田 幸三
 学29 松田 隆彦
 学29 床本 隆夫
 学27 山本 二郎
 学26 山本 秀義
 学26 梶原 義昭
 学26 石 嶋 克 幸
 学24 松永 賢二
 学23 塩塚 保

「鳳陽会」は、皆様方の年会費を基本にして運営しています。

学54	学54	学53	学53	学52	学52	学52	学52	学51	学51	学50	学50	学50	学50	学50	学48	学48	学46	学45	学45	学45	学45	学43	学43	学43	学43	学42	学42	学42	学42			
佐伯直紀	寺岡由佳梨	木下愛	森田加織	藤田さやか	山崎伸太郎	古川美幸	藤田教行	飯山修	田中慎也	片山聡	安藤俊雄	丸山沙由里	前田健二	山口智弘	中村太	馬渡敦史	濱根文彦	西尾淳	宮国美砂	岡田雅之	松野桂子	長谷美保	吉田明洋	藤田浩治	谷下光昭	三戸のり子	古野都之	川野貴弘	岡本邦興	前慎一	浜岸喜信	齊藤忍

学63	学63	学62	学62	学62	学62	学62	学62	学62	学62	学61	学61	学61	学61	学61	学61	学61	学60	学60	学60	学60	学59	学59	学59	学58	学58	学58	学57	学57	学56	学56	学55
高田浩晃	金田由香	白鳥浩希	谷ゆりか	村上敦司	檜垣里穂	光井真奈美	二木庸介	肥塚将大	中司奈穂	佐藤崇史	松本悠佳	秋枝将平	奥村美紀	馬場貴之	丸山晃大	奥田直樹	倉重健太郎	林拓磨	中森千秋	天神聖子	今田裕美	上野祐貴	畝山智江	高田修平	稲富隆大	重枝浩彰	池松幸一郎	佐藤隆則	阿部立禎	廣澤梓	野村雄介

学68	学68	学68	学68	学67	学67	学67	学67	学67	学67	学67	学66	学66	学66	学66	学66	学66	学66	学65	学65	学65	学65	学65	学64	学64	学64	学64	学64	学63	学63	学63		
山本心大	松岡涼介	藤森祐貴	濱田千晶	三股万明	牧野由華	古谷祥太	林愛里沙	中村悠之介	千田哲郎	岡絵里子	岩井彩香	福島潤也	大森正義	吉崎大輔	藤田沙穂	中村奨太	寺岡駿平	高田裕暁	井領元基	中嶋勇貴	植松大地	馬籠優美香	吉留海	築田智花音	音成藍花	長野貴志	岡田真記	塚内啓紀	伊藤尚之	羽野篤	久保貴史	原田歩

学72	学72	学72	学72	学71	学71	学71	学71	学71	学71	学71	学71	学71	学71	学71	学71	学71	学71	学71	学71	学71	学71	学71	学71	学70	学69	学69	学68
宮本翔伍	藤本ゆうか	高野敬大	木山友子	渡辺雄大	山本みど璃	山崎竜樹	山口莉奈	森悠里奈	松永宙弥	平林昂也	春名桃香	土生友香	中村聡秀	中村立城	長尾紗弥	武田尚樹	香下聖史	栗山海斗	上谷雄嵩	梅田美咲	上田新伍	岩永凜	荒瀬駿彦	西岡澄華	山根早紀	山藤朋未	吉岡

辻宜治	光富隆之	田村賢	白神秀郎	井関正義	★大学の部	平山良太郎	松本幸重	坂本純郎	天野寿夫	沼口宏	右田昇	武田郁夫	竹井源治	香川昇	笹川忠明	木内正年	朝倉吉平	三巴一義	淡路文夫	秋本雅裕	本田玄伯	三戸公	福原文平	弓削正敏	★高商経専の部
(大学2)	(大学1)	(大学1)	(大学1)	(大学1)		(専修19)	(専修19)	(専修18)	(経専44)	(経専43)	(経専43)	(経専43)	(経専43)	(経専43)	(経専42)	(経専42)	(経専42)	(経専41)	(経専41)	(経専41)	(経専40)	(高商36)	(高商35)	(高商30)	
6	6	2	6	6		5	5	6	6	5	5	5	6	5	5	4	27	6	元	4	10	18			
3	5	4	4			9	12	2	6	9	12	6	3	11	9	9	1	4	12	10	18				
18	26					6	15	28	27				25	25	30			1	1						

謹んでお悔み
申し上げます。



中島毅	石橋太郎	中園隆夫	久保昌宏	山本和夫	西村幸二	原田岩男	小宇羅勉	三原俊介	藤田良昭	重永俊雄	石松宏紀	三藤泰弘	柿原敬	牧川洋二	田村義則	石田康好	武田伸昭	重宗秀彦	三原浩	藤山一	海蔵寺龍人	浦上靖生	堀井孝人	藤永秋夫	中川恒洋	大高明教	石原豊和	古堤一三
(大学35)	(大学30)	(大学24)	(大学24)	(大学21)	(大学20)	(大学19)	(大学19)	(大学18)	(大学16)	(大学15)	(大学15)	(大学11)	(大学11)	(大学9)	(大学8)	(大学8)	(大学7)	(大学7)	(大学6)	(大学6)	(大学5)	(大学5)	(大学4)	(大学4)	(大学4)	(大学4)	(大学4)	(大学3)
5	5	5	6			5		6	6	6	5	5	6	6	5	5	5	6		6	5	5	6	2	5	6	5	
7	7	10	4			4		5	1	5	7	9	4	4	6	10	5	4		7	12	11	3	6		5	12	
2	5		19					17	11	20	30	18	29	30	14	17	1	26		26	1	2	25	10		18	18	

ご 寄 贈 (敬称略)

左記の図書等を鳳陽会へご寄贈戴きま
した。
ありがとうございます。

又信 第103号(創立百周年記念号)
香川大学経済学部同窓会 又信会

彦根高商創立百周年記念「陵水百年史」

一般社団法人 陵水会
(滋賀大学経済学部・
データサイエンス学部同窓会)

吉村ゼミのゼミナール基金残金全額を 鳳陽会へ寄贈

この件について、次の通
り、報告させていただきます
す。併せて、吉村ゼミの卒
業生の皆様には、本件につ
いて、ご了承いただきました、
お願いいたします次第です。

1. 本件を吉村が次の3氏に
相談した結果、3氏とも快
諾して下さいました。

山口大学経済学部准教
授・斉藤英智氏(1998
年3月卒)、最初のゼミ幹・
山本健氏(1975年3月
卒)、最後のゼミ幹・寺本
敏紀氏(2006年3月卒)

2. 一般社団法人鳳陽会理事
長松永昭博様、及び、常務
理事・事務局長石畠克幸
様より、寄贈の受け入れに
同意をいただきました。

3. そこで、吉村が、吉村ゼ
ミの「ゆうちょ銀行」「山口
銀行」口座を解約して残金
全額(1,013,978円)
を鳳陽会へ寄贈する作業を
しました。

4. 事務局長石畠克幸様よ
り、右記3の金額を受領し
た旨、メールをいただきま
した。

5. 右記作業の結果を示す通
帳及び振込書のコピーを上
記3氏に送り、確認を得ま
した。

以上

この件について、以下の
点を補足して、ご報告し
ます。

(1) 吉村が、ゼミの残金をゼ
ミ卒業生に配分するのは

なく、鳳陽会へ寄贈するこ
とを選択した背景は、次の
4点を考慮した結果です。

a. ゼミの卒業生の中には現
住所の不明な方がいるが、
これを全て把握することは
実際上出来ないこと

b. 卒業生は全て鳳陽会の会
員であること

c. 会報誌上で、寄贈の件を
紹介していただくことによ
って、鳳陽会員であるゼ
ミ卒業生に広く知っていた
だくことが出来ること

d. 会報誌上に掲載していた
だく私からのメッセージに
よって、ゼミ生各位に、本
件の背景を知っていただい
て、本件の扱いを了承くだ
さるようお願いできること

(2) 吉村ゼミの卒業生の概要
は次の通りです。

a. 学部卒業生は、大学23期
(昭和50年3月卒)から54期
(平成18年3月卒)まで
373名。

b. 大学院修了生(経済学研
究科修士課程修了者及び
東アジア研究科博士課程修
了者、ただし、学部吉村ゼ
ミ卒業生は除く)は11名。

a + b = 384名。
令和6年8月8日

山口大学名誉教授
吉村弘

同期会だより

獅子の会(大学17期)

卒業55周年記念同期会

前々日から降り続いてい
た春風大雨は、獅子の会
の55周年を祝してくれた
のか「パタリ」と止んでい
た。これまでの周年行事
（40、45、50）は幸運にも
すべて天候に恵まれた。こ
の幸運は、獅子の会を続
けてきたことで得られる神
様からの贈り物のひとつか
もしれない。

ところで、今回の獅子の
会55周年記念行事は、昨
年の秋口から各支部幹事
（東京、大阪、広島、福岡）
による会員の参加意向を
確認することから始めた。
その結果、会員の多くが
80歳手前の年齢でありな
がら、もう一度「青春時代
を謳歌した「やまぐち」
の地で、会いたい！話がし
たい！」との意見が多く寄
せられ、開催日を獅子の
会(昭和44年卒)にちなん
で令和6年4月4日(木)、
懇親会会場は湯田温泉(ホ
テルセントコア山口)、翌
日のゴルフは宇部カント

リ172万年池東コースで
開催することにした。

振り返れば卒業時には
168名いた仲間には

参加者は全国から22名(ゴ
ルフ参加者は10名)と当初
の想定より少人数となった
が、この年齢になれば致し
方ないことなのだろう。

さて、午後6時から始
めた懇親会では、ここ5年
の「物故者」への哀悼の誠
を捧げて黙祷。鬼木会長

から「皆さんと元気に参加
できたことの慶びと参加で
きなかった会員の近況報
告そして次のステップへ元
気に進もう！」と、そして
東京から参加の田尾君に
よる乾杯の音頭で開演し
た。5年ぶりの開催である
お互い会えば話が弾む。

今回は参加者による「今大
事になっている3つのこと」
を話題の中心にして「一言
談」で懇親会の場を盛り上
げた。東京で住職をして



(後列 左から)

柘植、古賀、梅澤、金光、三谷、村田、真木、諸藤、新留、原、原田、大井

(前列 左から)

中村、加藤、宮崎、藤野、立花、鬼木、田尾、金丸、水木、鹿毛

いる古賀君から「有難いお話し」、また、静岡から車で1800km走破して数十年ぶりに参加してくれた原君、九州中津から参加してくれた自称「農業者」の金丸君、阿蘇の麓でボランティア活動での生き甲斐を語る村田君、等々、紙面の関係ですべて紹介できないが、みんなが語りつくす中で名残惜しさを残しながら「鳳陽寮寮歌」等を全員で合唱、広島支部の水木君の万歳三唱で終演した。

翌日(5日)はゴルフ組と市内散策組に分かれてそれぞれが親睦を図った。ゴルフ大会は、スコアー80台が2人、90台が3人、100台5人と80歳近い年齢の中で、それぞれにドラマがあった。長年苦手にしてきた名物ホール池越え12番で、奇跡的にパーで上がったと大喜びする田尾君、前半3バーディーで絶対調だったが後半崩れダブルペリアの妙もあり最下位に沈んだ立花君、満身創痍(本人曰く)の身体ながら元気に完走した水木君、当クラブのメンバーで流石にコースを知り尽く

し、揃ってベスグロ(88)の真木、大井の両君の他、プレーを楽しんだのは鹿毛、金光、加藤、金丸と世話人鬼木君であった。



(後列 左から) 加藤、金丸、真木、鹿毛、大井、水木
(前列 左から) 金光、立花、田尾、鬼木

散策組は、原田、三谷、諸藤、村田の4名で、ザビエル記念堂↓亀山公園↓鳳陽寮跡地付近↓一の坂の桜↓井筒屋(旧ちまきや)の商店街アーケード↓

山口駅のコースを、当時を偲びながら散策。やはり一の坂川の満開の桜は大変印象的であったとのことである。もう一組は、宮崎の車で、柘植、古賀、中村君の4名で、一の坂川の花見。そこで、ある懐かしい出会いがあった。それは、「西村商店」のおぼちゃん(90歳近い)である。硬式テニス部の中村、古賀君たちは練習中の一休みにそのお店をよく利用し、西村のおぼちゃんに大変お世話

になったとのことで昔話に花が咲いていた。また、新留、梅澤、藤野君も「懐かしいやまぐち」の散策を思い思いに楽しんだ。

さて、後日、今回参加された方々や不都合で参加できなかった方々から多くのお礼やお詫びのメールをいただいた。「案ずるより産むがやすし」と、次回以降は各支部を当番幹事として周年行事に関係なく夫々の地の会員に参加呼び掛けをして開催し同期の絆を持ち続けていくことを誓いあった。

獅子の会事務局

宮崎修五

以上

ワンコイン・ランチの思い出 (80年代初頭)

都会の大学の学食では、今、学生支援として、ワンコイン・ランチと言うサービスがあるがニューズで紹介されていた。(山大には山口大学同窓会が支援している「ワンコイン朝食」があります)

80年代初頭、大学へ入学してすぐの教養部時代、昼飯のカレーは毎日学食でのワンコインの「100円カレー」であった。

一年生の時は、朝晩賄付きの下宿にいたので、昼は何を食べるか? 答えは明快ワンコインのカレー! 40数年も前だからといっても、

どこの大学も100円のカレーであったわけではない。職場にいる同時期中国地方の国立大学に進学していた人に聞いてみても、他大学のカレーは250円位していたという。当時の山大には生協がなく、何かにつけて食堂も高いと言われていたと記憶しているが、山大学の学食は学生を応援してくれていたのである。

では、そのカレーとは?

今風に少し洒落に言うとかレーというよりスープカレーという部類の水っぽいかレー(笑)であった。今風のスープカレーなら、ゴロゴロした野菜がトッピングされていて、野菜も楽しむことができるが、そのカレーは違っていた。中身はルーだけでは?と思えた。少し疑問に思った若き日の自分は、給仕のおぼちゃんに尋ねた。「おぼちゃん! このカレーは具が入ってますか?」おぼちゃん曰く、「こりゃなあ、よおしく煮込んでいるから、具はみんな溶けてしまつとんじゃ」との答え(笑)。

その100円カレーに黄金のセット物といえど30円の瓶牛乳。これを飲むと何となく栄養バランスが取れたような気持ちになり、一安心。仕送りが底をつきそうになった時は、30円の瓶牛乳すら、贅沢! になる。「贅沢は敵だ!」とばかり、それすら我慢...

の始まり、前日遊びすぎた時は...。本を片手に持ったまま寝落ちしてしまい、朝を迎え、床から起き上がるというような、自由気儘な時間であった。

そんな時、強い味方は、レトルトカレー。髪を結い、和服の上から割烹着を着た女性のデザインのレトルトカレー。ご飯さえ炊いておけば、何とかなる、無精者には最強の食べ物であった。そして、甘口、中辛、辛口と味も揃っていて、ローテーションを組むとそれなりに楽しめる方法を見つけていた。薄い壁で仕切られていた下宿の二階の隣の部屋には理学部の学生がいた。親交を深めていく中で、「二杯のかけそば」の様、朝刊を二



現在の学食

人で一紙取り返し読んだ。卒業後数年して膨らみ始めたバブル胎動前の清貧な生活。先ず、理学部の彼が読み、読み終わったら僕の部屋の前に何気なく置いておく。今風で言うところの新聞の置き配だ。

この位の人間関係になると、食事を作ったら互いに賄い、親から仕送りが届くと分け合う仲となった。お酒も一緒によく飲んだ。スーパーマルキョーというスーパーが近くにあって、自作のカレー作りに挑戦し始めたのもその頃だ。レトルトカレーからの卒業である。今考えてみると野菜を煮焚きしただけのものに、ただルーを投げ込むだけのかなり乱暴なものであった。それでも欠食学生にはご馳走で、二人で部屋で食べた。そして時には一階にいた人文学部の同級生も集まり、三人会ともなった。これも、纏めて料理をすることで規模の経済性が発揮されてか？一食あたり換算すると1000円位のワンコイン・ランチにはなっていたであろう。

ある日、講義棟一階で教育学部の西向きの場所に

あった学部内の「経済喫茶のカレー」の味を知ってしまった。その日を境にあまり学食の1000円カレーには足を運ばなくなった。何か少し上等な味わいであった。今では記憶の彼方になりつつあるが、350円または400円だったような記憶がある。一旦肥えてしまった舌は、経済喫茶のカレーを所望するようになっていた。偶に学食に行くと顔馴染みになっていた給仕のおばちゃんへ1000円カレーのチケットをさし出すと寸胴の大きな鍋を杓子で何度も何度もかき混ぜ、煮込みを煮込んでスープカレー化したカレーのその底にかすかに残っている具を盛り付けてくれた。

はないが、1000円ワンコインのカレーは、現在価格では148円という事になる。それを1000円で提供、なんと手厚い学生支援であろうか！

また、農学部横の横並び、埋蔵物資料センター？の横にあった、朝だけ運営されていた朝食バイキングは別格優れモノであった。自販機等で物の販売が増加した関係で、1982年に発行された5000円コインの半分ワンコインの2500円で朝食バイキングが提供されていた。

池田蔵相の「貧乏人は麦を食え」発言が新聞に掲載され、物議を醸したのが麦飯。そのバイキングは麦飯に、具たくさんの味噌汁、キャベツの千切り、魚は鯖の塩焼きだった。日によつては鯖の味噌煮、醤油煮、あとは野菜の煮物か、炒め物等であったと記憶している。欠食学生には禁断のバイキング、しかし朝だけ時間限定で提供されていたもので、その提供にありつけ

るには早起きは必須条件。四十年来の経済学部での親友の一人、馬術部の彼にとっては朝、馬の世話をし、軽く乗馬をした後、将に毎

日の「朝定食」であったかも知れない。朝寝坊ではなかなかありつけない1/2コイン(250円)の贅沢であった。今考えてもあれだけの定食を2500円で提供することは至難の業であろう。ここでも、厚く、そして熱く学生支援をしてくれた学食であった。

仕事の関係で、大阪にある日本での最大手の農機具メーカーに商談に行った。そこには高校時代の同級生がおり、彼は前もって、「昼は僕が持つ(奢る)から」と言ってくれていた。ここに5000円ワンコインのからくりがあるとは予想だにしていなかった。その会社では、充実した福利厚生のひとつとして、5000円の

ワンコインでお洒落で、しかもコーヒー付の昼食が提供されていた。勿論、高校時代の友にも、深く感謝だ。ワンコインではもうなかなか食事を戴くことが難しくなった最近のご時世。

還暦を迎え、「男子厨房に入る」。玉葱は餡色に炒り順も考え、食材の肉にも拘りをもつて、カレーを作る。さらにその時の気分で様々な隠し味も入れることも出来るように進化した。年齢を重ねることは、馬齢を重ねることであったとしても、なかなか楽しい。そして、ワンコインを契機とする人の繋がりは今もって、なお楽しい。

NK生(学32)記

本号の内容

通常総会報告	1~3
学園だより	3~4
支部だより	5~11
寄付お礼	12
動静	12~13
吉村ゼミ	14
鳳陽会へ寄贈	14
同期会だより	14~15
ワンコインランチの思い出	15~16

事務局から

この度の第94回通常総会で、次の3人の役員の方々が退任されました。
 ・鬼木和夫(学17・理事)
 ・山下秀雄(学26・理事)
 ・西田正人(学20・監事)
 在任期間は6年~12年とそれぞれ異なりますが、皆様には役員在任中は鳳陽会の運営に格別の尽力を賜りました。改めて深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

投稿歓迎

当会では会員の皆さまからのご投稿を心よりお待ちしております。同窓会、ゼミ、クラブのOB・OG会、学生時代の思い出、催しのご案内何でも結構です。投稿はメール、郵便で受け付けております。詳しくは事務局までお問い合わせください。

- ★5月15日号……(3月15日まで)
- ★9月15日号……(7月20日まで)
- ★1月15日号……(11月20日まで)

- ▽随感随想=1000字程度
- ▽ひるば=600字程度
- ▽本の紹介=300字程度
- ▽支部・同期会だより=600字程度

詩、短歌、俳句、写真など、皆さまの作品も大歓迎です。

ごつぞ、今後とも引き続き、(ご)指導、(ご)鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。(一)